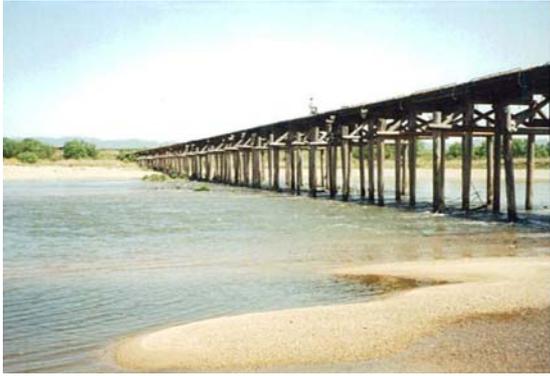


# 水辺の原風景

## 【水辺の原風景を取りもどす技術】

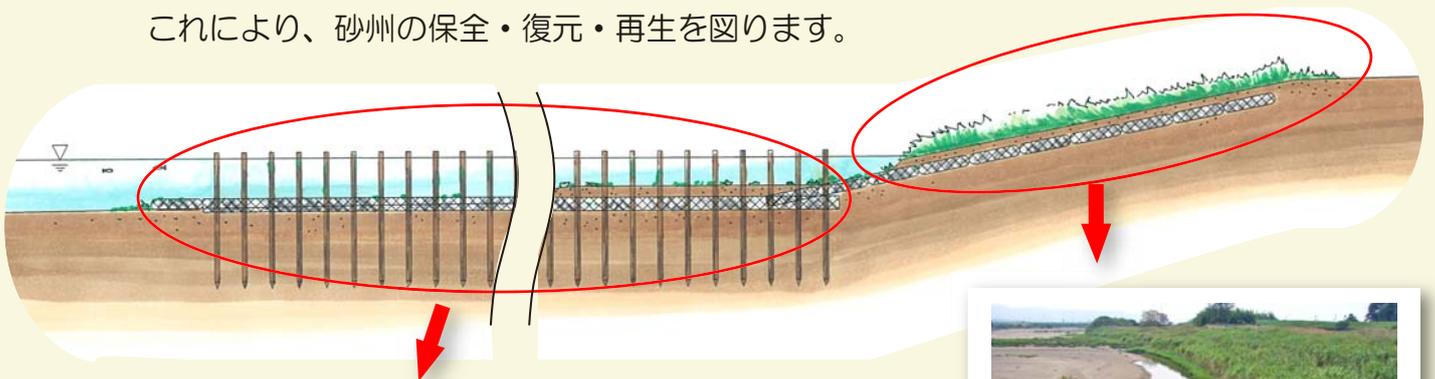
自然営力を利用した川づくりを行い、川本来の環境更新・再生機能などの「川のダイナミズム」の復元を図ります。失われた川本来の姿である「原風景」を取りもどし、子供たちが遊び・学ぶことができる水辺環境を再生します。



### 自然的変化に順応する可逆性のある工作物の採用

河川生態系や河川環境との調和を図るため、自然材料を使用し、多孔質で屈とう性に優れた最小限の工作物を計画します。

これにより、砂州の保全・復元・再生を図ります。



間伐材を利用した杭出し水制



現地発生土を利用した袋体



施工中

## 綿密な資料収集・分析

航空写真や横断測量図をもとにして、過去の「河原」の形状を確認するとともに、その後の流路の変遷・砂州の変動等を整理します。

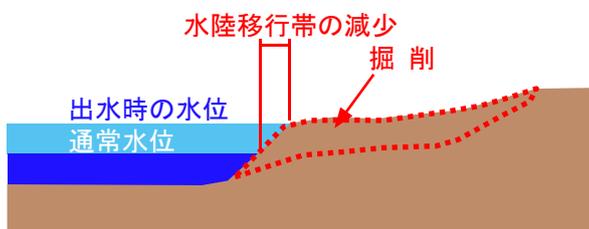
これらの分析により、既存植生や構造物の利用、必要な工作物の検討を行います。



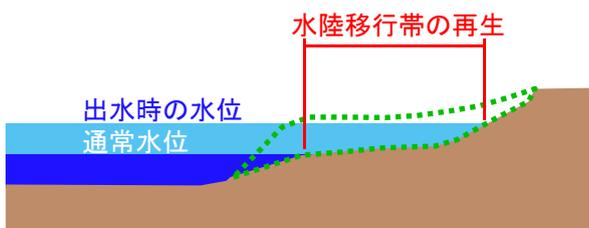
## 冠水頻度の調整による水際植物の保全・再生

冠水頻度と植生分布の関係を分析し、陸化した河川敷の切り下げにより冠水頻度を増やして、水際植物の保全・再生を図ります。

### ● 現在の状況



### ● 改修後の状況



20180111E-07

